

2024年新春のご挨拶

一般社団法人 ロシアNIS貿易会
会長 飯島 彰己

新年、明けましておめでとうございます。

まず、先日発生した能登半島地震による被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。さて、国際情勢は、新型コロナの脅威に対して、ワクチン開発や予防体制の確立により、当初の混乱から脱却することができました。他方ロシアによるウクライナ侵攻が起り、我々の経済活動、日常生活に大きな影響を与えました。解決への道筋は当初の想定通りには進まず、中東でも紛争が再び起こりました。また、世界経済は分断の危機に瀕し、今日こそこれらの問題の出口戦略が求められる時だと思えます。



さて、ロシア事業を取り巻く環境は大きく変化し、ロシアに進出した日本企業は事業を継続していくか、縮小するか戦略的な判断に迫られています。当会はこうした日本企業のニーズに対応すべく新たな会員サービスを日々模索しており、例えば、従来の定期刊行物やセミナーを通しての情報提供に加え、インターネット等を活用し、即時性や利便性を重視した情報の提供に力を入れています。これらの取り組みを通じて、日本企業が様々な判断を行っていく上で必要な情報をいち早く提供していく所存です。

NIS諸国やモンゴルに目を向けますと、これらの国々を取り巻く状況の変化にとともに、新たな展望が切り開かれることを期待しています。その意味で、対面での交流を再開できる状況となったことは、誠に喜ばしいかぎりです。例えば、昨年11月には「第8回日本カザフスタン経済官民合同協議会」を東京で開催しました。また、同じく11月には中央アジアのウズベキスタン及びキルギスへ「ROTOBO経済ミッション」を派遣しました。同ミッションはコロナ禍により5年にわたって実施を見送っておりましたが、私はこのミッションに団長として参加し、現地では政府関係者と面談、複雑化した国際情勢に適應した今後の貿易・投資関係等について意見交換を行ったほか、現地のビジネス関係者との会合の場をもちました。2024年もこうした活動を重ねて、NIS諸国やモンゴルとの交流を深めていきたいと思っています。

一日も早く国内・国際情勢が落ち着き、本年が良い年になりますことをお祈り申し上げますとともに、皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念申し上げます。